

20200616-17 令和3年度

ICTを活用した総合的な鳥獣被害対策モデル集落推進事業

はこわなと囲いわなを用いた シカ、イノシシの捕獲技術について

(株)野生鳥獣対策連携センター

1

対策のために知っておきたい イノシシ・シカの特徴1

- 母子、母系集団での行動

- 出没すると被害が深刻

- うまくやれば一網打尽にできる



2

対策のために知っておきたい イノシシ・シカの特徴2

- 食べ物に対する強い嗜好性

- シカは、植物はほぼ食べるが、新芽など柔らかいものを好む。

- イノシシは、食べ物を選ぶ。

- 一番良い時期の作物や高価な作物への被害

- 被害を出す時期や場所、捕獲に適した時期を特定できる



3

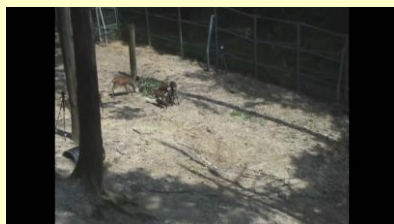
対策のために知っておきたい イノシシ・シカの特徴3

- 用心深い行動

- 危険を察知し、回避する能力

- 環境の変化や見知らぬモノに敏感に反応する

- 電気柵等の刺激が有効



4

対策のために知っておきたい イノシシ・シカの特徴4

• 学習能力、習慣性

- 食物を得られる場所の学習と
繰り返しの出没
- 音や光、においなどの刺激に
は慣れてしまう

□ 行動パターンを逆手にとった
捕獲が可能



5

被害対策の基本

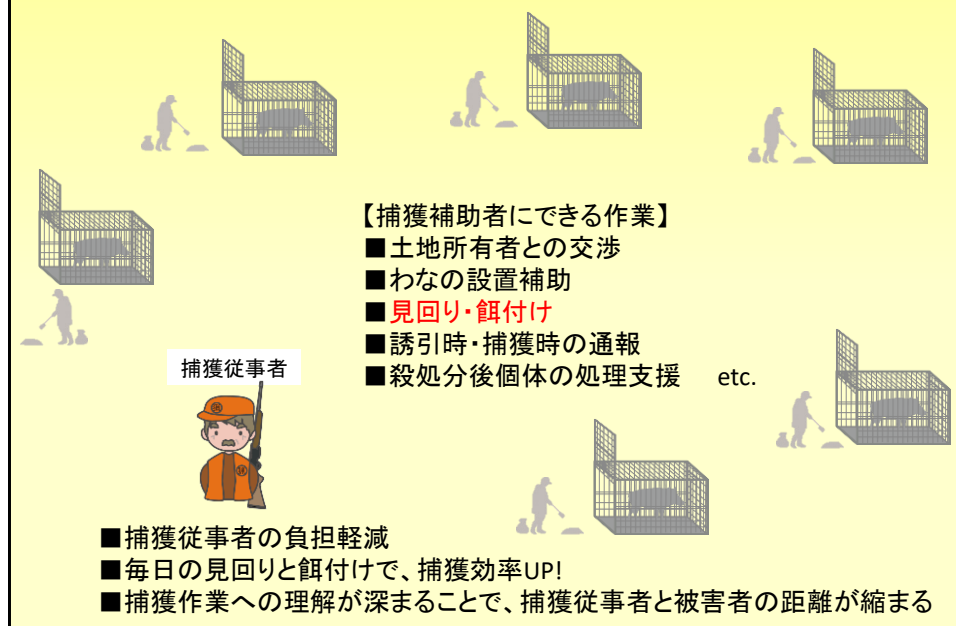


6

集落ぐるみで取り組むわな捕獲 (捕獲補助者の活用)

11

捕獲補助者の効用



捕獲従事者

【捕獲補助者にできる作業】

- 土地所有者との交渉
- わなの設置補助
- 見回り・餌付け
- 誘引時・捕獲時の通報
- 殺処分後個体の処理支援 etc.

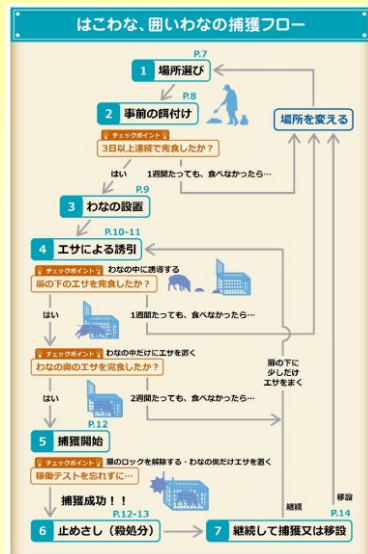
■捕獲従事者の負担軽減

■毎日の見回りと餌付けで、捕獲効率UP!

■捕獲作業への理解が深まることで、捕獲従事者と被害者の距離が縮まる

12

はこわな、囲いわなの捕獲フロー



- (1) 場所選び
- (2) 事前の餌付け
- (3) わなの設置
- (4) エサによる誘引
- (5) 捕獲開始
- (6) 殺処分
- (7) 継続して捕獲又は移設

13

(1) 場所選び

ポイント

獲物がたくさんいる場所を見つけること

動物側の都合

- ①獲物がよく出る場所
- ②山から近い場所

人間側の都合

- ③土地所有者の許可が得られる場所
- ④車でのアクセスがよい場所
- ⑤設置に適した平坦な場所
- ⑥人の出入りが少ない場所

14

足跡

イノシシ



シカ



15

糞

イノシシ



シカ



カモシカの糞

ウサギの糞

16

その他の痕跡

イノシシ



シカ



17



18

車道の横断ポイントは、
幹線道路である可能性が大！



19

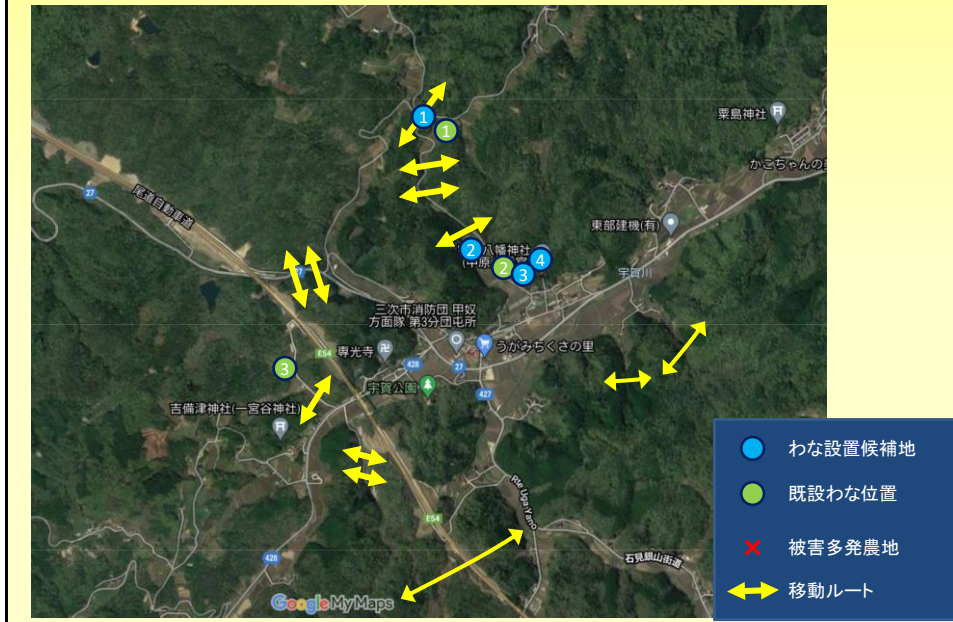
地形を踏まえた移動ルートを検出

※最も**楽**に目的地に到達できる**最短コース**を選択する



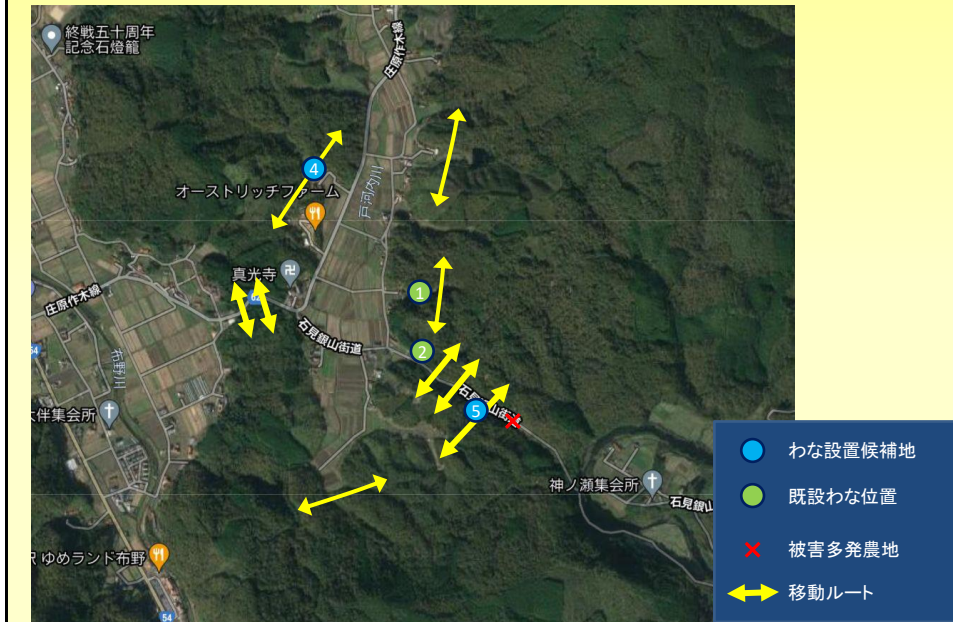
20

甲奴町うが地区



23

布野町戸河内下地区



24

捕獲適地は、獣種によって異なる・・・

■シカの捕獲適地

- ・見通しが良く、開けた場所
- ・林縁に近く、いつでも山へ逃げ帰れる場所



ため池の堰堤付近



山際の耕作放棄地

25

捕獲適地は、獣種によって異なる・・・

■イノシシの捕獲適地

- ・下層植生が薄く、見通しのきく林内
- ・人の利用が極端に少ない場所なら、開放地でも可



林道脇の林地内

26

はこわな捕獲に適した竹林の見分け方 (イノシシの場合)



27

(2) 事前の餌付け

ポイント



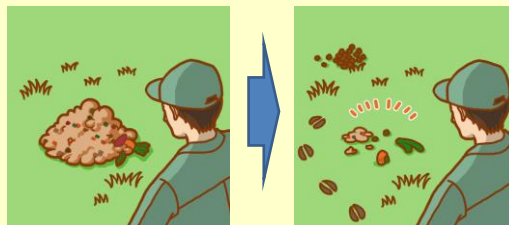
獲物にエサの味を覚えさせること

- 必ず、わな設置前に餌付けを開始する
- いろいろなエサをまいて、エサの好みを調べる
- 3日以上連続してエサが完食されるまで継続する

<エサの選定条件>

1. 誘引力
2. 費用
3. 扱いやすさ

(腐りにくく、入手しやすい)



28

主なエサの種類

【共通】

■米ぬか

【シカ】

■くず野菜

(水菜、キャベツ、カブ、
トマト、ほうれん草etc.)

■牧草

(乾草、ヘイキューブetc.)

■剪定した枝葉

【イノシシ】

■配合飼料

(乾燥トウモロコシを含む
ものが良い)

■くず米、古米

■イモ類・マメ類

■その他の野菜・果実類
(カボチャ、カキ、リンゴ、
スイカ、ミカンetc.)

■酒粕

※塩やゴマ油、タール等での誘引効果は確認できていない

29

(3) わなの設置

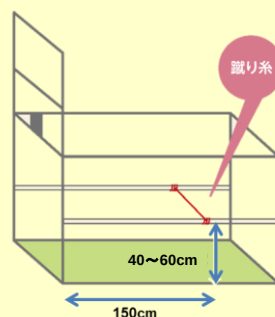
ポイント

入りやすいようにわなを置くこと

- 最も食いがよかった場所とエサを選定
- わなは平らで、周囲の見通しの良い場所に設置

更なる効率UPのために・・・

- 扉は固定
あとは捕獲時と同じ状態に
(蹴り糸も最初からセット)
- 蹴り糸の奥行きと高さの設定
を遵守すること



30

(4)エサによる誘引

ポイント

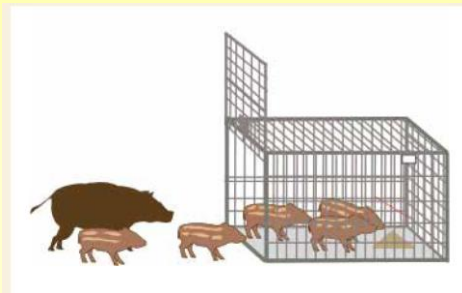
獲物にわなをエサ場と認識させること



- ①獲物をわなに近づける
毎日、欠かさずにエサをまくことが最も重要
- ②獲物をわなの中に誘い込む
- ③獲物をわなの奥まで誘い込む

31

誘引初期の様子



比較的警戒心の低い幼獣は早い段階からわな内へ進入するようになるが…

- 成獣が十分に餌付くまで、わなは作動させない
- 警戒心が高い状態で扉が落ちると捕獲しにくくなる

32

エサの配置と誘引状況



33

扉付近での攻防戦



34

ここまで来れば、あと一息！

完食された地点にエサを追加しないこと



36

誘引中期の様子



一番奥の餌が完食されるようになれば、準備完了

37

(5)捕獲開始

ポイント

餌付けた獲物を確実に捕獲すること



- ①餌を外から取られない程度に、なるべく奥の方にまく。
- ②仕掛けをセットし、スムーズに扉が落ちるか、十分に
予行演習をする。

38

誘引後期(捕獲時)の様子



39

餌付けは、忍耐の勝負！！
手前で食べられるうちは、奥へは入らない



40

映像資料から学べる教訓①

【十分な餌付け期間を設けることの重要性】

うまく行ったケース



愛媛県提供

失敗したケース



愛媛県提供

41

映像資料から学べる教訓②

【仕掛けの高さ設定の重要性】

【十分な餌付け期間を設けることの重要性】

幼獣を先に捕獲したケース



愛媛県提供

成獣を先に捕獲したケース



愛媛県提供

42

映像資料から学べる教訓③

■仕掛けの高さ設定の重要性

■エサの設置方法も重要



長期餌付けの結果の錯誤捕獲はダメージ大！

43

映像資料から学べる教訓④

- 餌付けによる誘引効果と、はこわな捕獲の限界
- 両扉式わなの課題



愛媛県提供

44

ICTの活用により、一網打尽も可能に！



動物は、ただで
わなには入ってくれない



継続的な
餌付け体制が不可欠！



45

成功のカギは餌付けが成功するかどうか

時期や場所によっては、餌付けが難しい場合がある。

- ・動物にとってより魅力的な他の餌がたくさんある
- ・季節により出没しにくい場合がある
- ・わなを学習し警戒心が強い獲物がいる



しばらく餌付けをしても、餌が食べられないときは

- ・餌の種類工夫 ・他の餌（農作物等）の管理
- ・**場所を変える** ・無理せずしばらく休む などの工夫を
→他の捕獲手段にシフトするのも効果的！

餌が食べられた時はチャンスなので、

餌を食べさせ続け、警戒心を解き、わなに誘引する。

46

捕れなくなったら、移動することが重要！



47

中断や移動の判断の目安

□捕獲できない場合の対応について

目安の期間と指導内容

2週間以内: 基本的なわな管理方法を指導



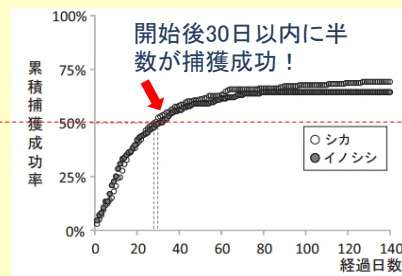
2～4週間: 餌付け方法や誘引状況の確認



4～6週間: 状況に応じて、
移設を含めた改善策を提案



6～9週間: 積極的に移設を提案



【はこ・困いわなによる捕獲データ】

48

安全な止めさしに備えて…

51

捕獲した獲物に近づく前に…

- イノシシでは、捕獲された個体の近くに親や子供が潜んでいることがあります。
- 近くにイノシシの気配がある場合は、無理に近づかないようにしましょう。



53

安全管理のポイント！

はこ・囲いわな

- 獲物がわなから出そうでないか
- わなが壊れたり、ストッパーが外れていないか
- 捕獲した獲物がひどく興奮していないか
- わなの周囲に他の個体がいらないか



54

保定具の使い方(箱・囲いわな編)

※保定具には、伸縮性が低く、十分な強度のあるロープを接続し、長さ2m程度の棒を挿して使用します。

55

保定具の使い方

【鼻くくり編】



※上の方のマスからワイヤーを入れることで、あごや前足が浮き、止めさがしやすくなります。

56

棒や板などで動きを止める方法



58

イノシシにも応用可能



保定後、ハンマーによる頭部殴打
で対象動物を失神させる
→ポケットネットから出してから
とめ刺しを行う

←はこわなにも応用可能



愛媛県提供



愛媛県提供

60

血抜きについて

- 動物が急に立ち上がったたり、
咬んだりすることがあります。
- 処置個体に近づく際には、
十分に注意してください。



【実施の際の注意点】

- 頭を下にしておくと、
よく血が抜けます。
- 胸部を圧迫すると、
より多くの血を一気に出すことができます。

61

ご清聴ありがとうございました

作業者や地域住民の安全を確保しつつ、
効率的に捕獲を進めましょう。

62